

## 第5回 昭和の森「親子田んぼ教室」田植え編

後藤菊子（千葉市）

日 時：2014年5月10日（土）9時30分～12時 天候：晴れ

参加者：14名（子ども6名・大人8名）

担当指導員：山下美佐子・山田益弘・岡田富子・後藤菊子

応 援：花島伸美・笹倉裕子（写真撮影）

「昭和の森ビオトープの会」が中心となり年々田んぼの面積も増え、形も整ってきた畠田の「親子田んぼ教室」も今年で3年目を迎えました。

今年は応募者が少なめでしたが、5月の真っ青な空と穏やかな風の中で田植が始まりました。子ども達は全員4年生以上だったので作業がスムーズに進みました。まず山田さんの指導のもと、3本位の早苗の持ち前進しながらの田植の方法の説明を受け2班に分かれて田んぼに入りました。2人の指導員が畦に立ち目印の付いた紐を田んぼに渡し、親子が一列に並んで前進しながら植えて行きました。初め子ども達は水の冷たさや足が泥に取られそうになつたりしましたが、少しずつなれ田んぼの生き物にも気づく余裕も出てきました。30分程で終わるともっと続けてやりたいという子どももいて親子の会話も弾んでいました。

その後、それぞれ網を持ち生き物観察のための隣の池に入りました。田植を終えて田んぼに少し馴れたせいか、子ども達は活発に池の生き物を網で掬い歓声をあげ、それは楽しそうでした。掬い上げた生き物は、用意しておいたトレーに分別して入れると、初めて見る物もあり瞳を輝かせていました。最後は山下さんと山田さんから紙芝居形式で田んぼと生き物のつながりの説明があり参加者の方々は熱心に聞き入っていました。用意した顕微鏡で観る生き物はまた驚きの連続の様でした。あつという間に時間が過ぎてアンケートに感想などを頂き、夏の草取り、秋の稻刈りを楽しみに解散となりました。



### ●池で観られた生き物

コシボソヤンマのヤゴ、ヤマサナエのヤゴ、ヒメゲンゴロウ、ドジョウ、イトミミズ、ヨコエビ、アメリカザリガニ、カワニナ、マツモムシ、ニホンアカガエル・アズマヒキガエル・シュレーゲルアオガエルのオタマジャクシ等